

(別添 4)

第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント

(令和 8 年 2 月 24 日記載)

この度は、当法人が運営する障がい者支援施設明星学園において、第三者評価を実施して頂き、また理念や日々私共が取り組んでいる支援等について高く評価して頂きましてありがとうございました。

今回で3回目の受審となります。

前回同様、多岐にわたる調査項目の一つ一つを振り返りながら、改善できたこと、改善できていなかったことや運営・管理していく上で施設としてのやるべきことを再認識しています。

前回に続き、私共が思っている以上に高く評価して頂いた部分が多く、その部分については日々取り組んでいる支援に対して自信を持って続けていくこと、また高い評価に恥じないように継続して努力していく謙虚な気持ちも併せ持つて取り組んでいきたいと思ひます。

前回指摘された事項について、今回までに改善できた事項もありましたが、今回も“特に改善する必要があると思う点”が挙げられました。内容として、「利用者、家族の意向を尊重した更なる社会参加と、地域生活への移行支援に向けての展開を期待します。」という点です。地域イベント情報や説明等は掲示板を活用し情報提供を行っていること、また、利用者自治会で説明するなど、積極的に利用者の周知を図っているという部分については評価して頂きましたが、利用者の希望に応じるための学習支援や日常的な地域との関り、地域移行への意欲向上に繋げる取組を期待致します。という部分が挙げられています。日常的な地域との関わりは、私共の弱い部分として認識しています。事業所全体で自覚し、アイデアを出しながら積極的に交流できる仕組みを作っていきたいと考えます。また、地域移行への意欲向上に繋げる取組みという面においては、ご利用者さんに情報提供は行っているものの、意欲向上に繋がる情報提供にはなっていないと改めて認識したところです。改善できるように情報提供の仕方を工夫したいと思ひます。

利用者調査では、概ね満足の回答を頂きましたが、「ボランティアや地域の人、家族等が参加したり交流したりする機会がありますか。」の設問だけ不満の回答がありました。これは先述したように日常的な地域との関わりと通じる事柄で利用者さんも不満に感じていることを教えて頂きました。今後も利用者さんに満足して頂けるように、不満の一つ一つを取り除いていく支援を提供していきたいと思ひます。また継続して、職場環境や業務分担の見直しを行いながら職員が長く働ける職場として定着すること、また、地域の方々と互いに支え合える関係を構築することで、私共が目指す、法人の理念でもある「みんな幸せになりたい あなたも私も」に近づいていけるものと信じています。この第三者評価を継続的に実施し、風通し良く、より良い施設を目指していきたいと思ひます。

この度は、有意義な機会をいただきまして、誠にありがとうございました。

- * 公表の同意をした場合は、評価機関に、電磁的に作成し電磁的に保存した媒体及び当該媒体を出力した書面（署名をすること。）を提出すること。
- * 評価機関は、福祉サービス事業者から提出のあった当該書面を県へ提出すること。

社会福祉法人明星会

明 星 学 園

園長 宮下 拓也

